

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業

2021 年度微細加工プラットフォームコンソーシアムシンポジウム

『共用施設から生まれるイノベーション』

～ ナノテクが拓く未来 ～

2021 年 12 月 13 日 (月) 13:00～16:45

オンライン開催 (Zoom Webinar 利用)



【主催】 微細加工プラットフォームコンソーシアム

文部科学省の委託事業である微細加工プラットフォームは、大学等の施設の共用と蓄積された知によって研究者の課題解決と研究開発の支援を目的として、2012 年度から 10 年間、共用事業を推進し、多くの大学や企業の研究者、技術者の方々にご活用頂いてきました。

本シンポジウムでは、10 年間の活動、取り組みを振り返りながら、ナノテクノロジー研究開発への貢献、共用事業のさらなる発展に向けて、過去、現在、未来のプラットフォームについてご紹介します。

参加費：無料

参加申込：下記 URL もしくは右の QR コードより事前登録をお願いします。

<https://www.nanofabsymposium.org/>



Time	PROGRAM SCHEDULE
13:00	主催者から 微細加工プラットフォーム代表機関 運営責任者 小寺 秀俊
13:05	挨拶 文部科学省 研究振興局 参事官 江頭 基
13:10	基調講演「ナノテクプラットフォームのレガシーを新事業に活かそう」 文部科学省 ナノテクプラットフォーム プログラムディレクター 佐藤 勝昭 <概要> ナノ支援 → ナノネット → ナノプラ と引き継がれた 20 年のナノテク設備共用事業は、1 つのブランドとなって大学だけでなく企業の研究者にきっちりと定着し、我が国の深刻な状況の中にあって、装置と知の共有を通して、研究力を下支える大きな力を発揮しました。今年度、ナノテクノロジープラットフォーム事業は最終年度を迎え、同時に、マテリアル先端リサーチインフラ事業がスタート、来年度から本格的な運用が始まります。20 年にわたって積み上げてきた支援のシステムと、支援スタッフが持つ「知」と「技」が大切なストックとなっています。新たにスタートするのは、データ創出基盤の整備・高度化を目的とする新たな装置共用事業です。微細加工プラットフォームでは、すでに加工レシピに代表される「匠の技」がデータベース化されていると伺っています。ナノプラのブランド力と支援スタッフに蓄積されたストックなどのレガシーを新事業にしっかりと引き継いで、日本の研究力を牽引する原動力を提供することを期待します。
13:40	特別講演「微小光熱源ナノヒーター®素子」 (東京大学支援) (ナノテクノロジープラットフォーム令和 2 年度秀でた利用成果 最優秀賞) 株式会社イノバステラ 取締役 CTO 杉浦 聡 <概要> 電機メーカーからスピンアウトしたベンチャーを待ち構えていたのは、魔の川でも、死の谷でも、ダーウインの海でもなかった。束縛からの解放は同時に、実験と検証を積み重ねて新規デバイスを創り上げるプロセス開発環境を失うことでもあったのだ。もがいていた我々の前に現れた救世主は、一流の装置群と優秀な研究者を備えた微細加工プラットフォームであった。共に手を動かして開発した半導体デバイス、ナノヒーターの話をしませう。
14:20	活動報告 (1) 微細加工プラットフォームの 10 年間の活動の振り返りと今後に向けて 微細加工プラットフォーム代表機関 運営責任者 小寺 秀俊 (2) 共用施設・技術支援の進化、成長 ・京都大学 ナノテクノロジーハブ拠点 佐藤 政司 ・東北大学 ナノテク融合技術支援センター 菊田 利行 (3) 共用事業の技術資産と今後の活用 「～利用報告書の分析と価値創造～」 微細加工プラットフォーム代表機関 共同代表 秋永広幸
15:40	ポスターセッション「微細加工プラットフォーム実施機関の紹介」
16:40	閉会/主催者挨拶

お問い合わせ：2021 年度微細加工プラットフォームコンソーシアムシンポジウム事務局

nanofabpf_2021@semiconportal.com Tel: 03-6807-3970